

たん暖たてやま

689

平成17年
2月1日号



著書と小平夫妻

シリーズ 市民

209

第一一九七一号 この数字が戦時中
収容所での私の姓名でした

戦時中、館山には多くの軍事施設があったため、多くの市民や家族に様々な戦争体験が残されています。

開戦当時アメリカにいた小平さんは、4年間強制収容所で過ごした体験の持ち主。25年前、この事実を本にまとめましたが、今回、貴重な戦争資料として後世に残すため、教員たちにより「アメリカ強制収容所」として復刊することになりました。

また、当時の収容所の様子を小平さんが描いたスケッチが、2月19日〜28日まで、北条のアークスギャラリーに展示されます。

「戦時中の強制収容所での日系人の事実を歴史の中で埋没させず、後世に伝えていきたい」と思いました。多くの人に読んでいただきたいですね」

PROFILE

館山に移り住んできた人々
元玉川大学教授小平尚道さん

「布良沖でヨットから見た館山が、夕日を浴びとてもきれいでした。その美しい光景が忘れられず、老後はこの地に永住しようと決意しました」

小平さんは一九二二年（大正元年）アメリカで生まれ、太平洋戦争が勃発した時はシアトルで日本人教会の牧師をしていました。戦後帰国し、玉川大学外国語学部教授として69歳まで教鞭をとり昭和57年、神奈川県大和市から相浜に転居してきました。「住み始めて23年になりますが、地域の人はみな親切で人情味があります。館山は気候も温暖で時間の流れも緩やかに感じ、住み心地は最高です。ここに住んで本当によかったですね」

「シリーズ市民では、様々な視点から市民を紹介していますが、市外から移り住んで、館山で生活している人にスポットをあて、館山に移り住んできた人々として、適時、紹介します。」



社殿を飾る彫物 鶴谷八幡宮の百態の龍

神社やお寺へお参りする、屋根が手前に突き出している場所です。参拝者がたたくための向拝といつても神仏を礼拝できるようにに設けられている場所です。参拝者がたたくための向拝には、邪気を祓うために龍や獅子・象（じつは獲などの彫物がよく飾られています。とりわけ多いのが龍の彫物で、皇帝の権威を象徴する神獣であり、日本の国土を守る存在であり、庶民の信仰では竜神や竜王と呼ばれる水の神となつて広く親しまれたモチーフでした。



▲百態の龍

こうした社寺の装飾彫刻は、江戸時代後期に全国各地の村々で増えていきました。この時期は人目を引く装飾を注文どおりにさせることが出来るほどに、庶民の経済力がついてきた時代でした。彫物師もまた江戸時代の中頃から専門化し、芸術家としての自負をもって活動するようになっていた時期で、作品には絵師と同じように名前を彫り込むようになり、江戸時代の後期は、庶民の身近かに芸術がやってきた時代でもあったのです。

そうした雰囲気の中、幕末の文久年間に鶴谷八幡宮で社殿の再建工事が行なわれました。安房国内の村々や領主たちから寄付を募り、安房国総社としての面目をかけた大工事でした。このとき、拜殿の向拝天井に「百態の龍」と呼ばれるさまざまな姿の龍の彫物がはめ込まれています。今も天井を飾るこの彫刻は、安房の彫物師を代表する千倉の後藤義光の作として知られ、館山市の文化財に指定されているものです。

文久元（一八六二）年から準備が始まり、拜殿本体の完成に後れること3年にして、ようやく慶応二（一八六六）年8月5日、八幡の



▲鶴谷八幡宮向拝

祭礼を目前にして完成しました。百態とはいいながら、実際の龍の数は55態。「百」とは「たくさん」という意味で使われているわけです。

一尺四方の格天井54枚に囲まれて、中央に9枚分の大きさの鏡天井がはめ込まれています。この天井は142人の人々が寄進をしました。鏡天井は新宿の5人の商人が奉納し、他の格天井は八幡や那古を中心に、1枚を1人から4人で奉納しています。なかには北条出身の大相撲力士で、明治になって大関に出世した轟平吉（のちの象ヶ鼻平助）が寄進した格天井もあります。寄進した人々の名前はそれぞれの天井板に刻まれ、自らの邪気払いも願っていたことでしょう。

市立博物館の3月の休館日は、7日、14日、22日、28日です。

規律正しく新春に映える



館山市消防出初式

新春恒例の館山市消防出初式が先月7日、コミュニティセンター第1駐車場と南総文化ホール大ホールで挙行され、市内消防団が勢ぞろいしました。点検や披露放水を行うとともに、地域防災に尽力した功労者の表彰を行いました。

問合せ/社会安全対策課(☎22-3442)

市民にとって頼もしい存在

館山市消防団(団長山田一夫、団員387人)に特別参加の洲崎婦人消防隊の15人も加わり、出初式が始まりました。規律のとれた団員と消防車の入場で開式、辻田市長から団員の苦労をねぎらう激励の式辞と山田団長のあいさつの後、来賓諸氏による観閲で服装点検と車両点検を実施しました。(写真上)

その後、昨年度新型車を配置された第1分団第1部と第3分団第7部による披露放水。青い空を背景に、火点に向けた放水が行われました。見学していた市民は「統制



披露放水

思ったことがありません。消防団の皆さんは、災害が発生すると大変だと思えますが、頼りにしています」と頼もしいげに見守っていました。その後、会場を南総文化ホールに移し、表彰式を開催。千葉県知事功労賞をはじめ各章を、地域防災に永年尽力した消防団員が受賞しました。受賞された団員は次のとおりです。(敬称略)



整列する消防団

市民の期待に応えるため全力投球

今回、表彰を受けた団員だけではなく、全ての団員が生業を持つかわら、精力的に団活動に取り組んでいます。

昨年は市内36件の火災出動をはじめ、台風・大雨・暴風の警戒には、延べ1,085名、行方不明者の捜索には延べ278名もの人員が出動しました。日頃から、火災に備えて、夜間や休日に放水訓練・規律訓練・水利点検・機械器具点検・冬期夜警などにあたっています。

出初式では、日頃の訓練の成果を発揮し、来賓の方々より多くのお褒めのお言葉を頂戴し、大変うれしく感じています。私としては、もっと消防団活動を理解してもらい、より多くの市民にご覧いただきたかったと思っています。

若い団員の確保など難しい問題もありますが、市民の生命・財産を守る為、より一層の努力をしていきたいと考えています。

館山市消防団の活動

館山市消防団は現在、団長以下387人の団員が市民の生命・財産を守るため、火災や台風などの災害に出動したり、行方不明者の捜索などの活動を行っています。

これまでこうした活動に対し、消防庁長官表彰などを受章。平成12年には日本消防協会から「特別表彰まとい」を受章しました。日常、機械器具の点検や消防自動車の試運転、規律訓練などを行い、出動に備えています。

さらに奉仕活動などを通じて、地域に密着し、充実した消防活動をめざしています。

永年の功労に光

千葉県知事功労章/早川幹雄(本部付分団長)、波々伯部真(第4分団分団長、長田三

真(第8分団分団長)、川名正浩(第8分団副分団長)、平塚英雄(12部部長)

千葉県知事精勤章/出口弘幸(第6分団分団長)、磯邊博昭(第1分団分団長、川名博義(第9分団分団長)、飯沼智(第6分団副分団長)

千葉県消防協会長功労章/安西竹松(第7分団副分団長)、渡邊進(11部部長)

千葉県消防協会長精勤章/富宮和弘(8部部長)、青木弘紀(9部部長、吉野隆志(8部部長)、大内実(20部部長)

防災対策監章/海老原正人(15部部長)、加藤敦(24部部長、君塚一友(8部部長、齊藤裕司(9部部長)、福島基之(11部部長)

千葉県消防協会安房支部長(16部部長)、今井賢二(26部部長)

千葉県消防協会安房支部長

功労章/森田圭一(1部班長)、川間強(2部班長)、幾川雅統(3部班長、村田修(19部班長、加藤誠(19部班長)、伊原真一(11部班長)、鈴木茂(16部班長)、安田邦夫(20部班長) 千葉県消防協会安房支部長精勤章/加藤直樹(第2分団副分団長、羽山幸夫(5部班長)、龍崎豊和(13部班長)、岩城勇司(2部班長)、神崎久芳(5部班長)、熊澤良彦(12部班長)、飯田暁(7部班長)、石井庄一(24部班長)、龍晃(27部班長)

館山市消防団長精勤章/須田秀之(第9分団副分団長)、相川義明(26部部長)、篠塚和則(27部部長)、和広(1部班長)、庄司豊(3部班長)、林哲也(10部班長)、豊茂樹(17部班長)、鈴木浩之(18部班長)、鈴木豊次(26部班長)、尾直克(1部班長)、小林真一(2部班長)、安田典弘(9部班長)、長井隆行(11部班長)、滝口良範(16部班長)、井月英二(16部班長)、寺田正和(16部班長)、田邊直広(16部班長)、島田恵一(17部班長)、島田弘之(17部班長)、島田卓(17部班長)、石井智(17部班長)、伊藤昌幸(17部班長)、島田淳(17部班長)

退職者表彰受賞者名簿

消防庁長官15年以上出勤退団者表彰/山口俊彦(元副分団長、田丸一文(元部長)、島山誠(元部長)、鈴木隆文(元部長)、鈴木弘之(元部長)、増田邦男(元班長)、石井文一(元班長)

退職者表彰受賞者名簿

消防庁長官15年以上出勤退団者表彰/山口俊彦(元副分団長、田丸一文(元部長)、島山誠(元部長)、鈴木隆文(元部長)、鈴木弘之(元部長)、増田邦男(元班長)、石井文一(元班長)



596人が二十歳の門出

今年、市内では596人(男325人、女271人)が新たに大人の仲間入りをしました。先月9日、南総文化ホールで開催した成人式には、488人(男265人、女223人)が参加。二十歳の門出を祝いました。新成人を代表して、新藤紗江さんが市民憲章を朗読。三平泰文さんが二十歳の誓いを述べました。



責任ある発言と 言動を心がけたい

小さい頃から音楽が好きで、ピアノを習っていました。今は音楽大学に通い、将来



新藤紗江さん

はレコーディングエンジニアになりたいと思っています。仕事につくことも考え、その場を取りつくるうのではないかと、責任ある発言と行動を心がけたいと思っています。(新



三平泰文さん

一歩一歩着実に

藤紗江さん) 自分で作った四字熟語で、「照傾脚下」を座右の銘にしています。足元に灯りを照らして、急がずに一歩一歩着実に進んで行きたいと思っています。将来の仕事についてはまだわかりませんが、ジージャン、ジーパンが似合うかっこいい50代になりたいですね。(三平泰文さん)

地域再活性化の切り札さぐる！ コミュニティビジネス・シンポジウム

経済産業省関東経済産業局では、専門家やNPO活動などの実践者を招き、「コミュニティビジネス・シンポジウム in 南房総」を開催します。南房総地域の地域資源を活用したコミュニティビジネスの可能性と方策を探ります。NPOに参加している人や地域の活性化、コミュニティビジネスに興味のある人などの参加を呼びかけています。

日時/2月26日(土)午後1時30分から午後4時30分
場所/館山商工会館
基調講演/『みんなが主役！房総を元気にするCB、NPOとは何か』NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター 永沢映氏
事例発表/『地域産業と孵卵器』枇杷倶楽部の試み/『富浦町総務課長 加藤文男氏 パネルディスカッション/『コミュニティビジネスが地域の元気を呼び覚ます』地域

ロービジョンケア千葉講演会

ロービジョンとは、さまざまな眼の疾患により日常生活に不自由を感じている人を意味します。



ロービジョンケア千葉では、ロービジョン者の生活の質を最大限に高めるために、関係施設がネットワークを作り、密接に連携をとりながら対応していくための支援について講演会を開催します。

日時/2月13日(日)午後1時から午後4時30分
会場/千葉市民会館
内容/講演「小児のロービジョンケア」「ロービジョンケアの実際」、パネルディス

再活性化の切り札は民産官の協働から『千葉大学工学部清水忠男教授ほか パネル展/千葉大学工学部NPO活動パネル展示(午後1時から午後4時30分、会場内)
交流会/パネリスト・参加者等による交流会(午後4時45分から午後6時、会場内)
定員・参加費/300人、参加費無料(交流会への参加は事前申込みで30人、参加費500円)
問合せ/企画課(☎22-13152)、りそな総合研究所・研究開発部(☎048-824-6241)

カッション「ロービジョンケアを考える」
参加費/千円
問合せ/ロービジョンケア千葉事務局JRPS千葉県支部 太田浩二(☎043-270-7300)

月釜
日時/2月27日(日)午前10時から午後3時
場所/雁月庵(城山公園)
費用/一服300円
問合せ/生涯学習課文化係(☎22-3698)

寝たきりにならない。排泄は自力で！

在宅介護サービスの提供で自立をめざす

結いの会は在宅の高齢者や障害者、その家族など手助けが必要な人に、地域に根ざした介護サービスを提供したり、高齢者が社会参加できるように、体力・健康の維持運動を推進し、人々が健やかに暮らせる社会の実現をめざし、平成14年5月にNPO法人として発足しました。

そして、「寝たきりにならない。排泄は最後まで自力で！」を合言葉に、動かさなくなり衰えた筋力を戻す運動の講習「生き生きストレッチング」。ストレッチングは参加無料。毎月第3土曜日、午後2時から3時まで「菜の花ホール」で、県立館山運動公園の岡本富俊インストラクターが専門的に指導します。

たてやまの NPO (5) 結いの会



生き生きストレッチング

結いの会
会長/吉田英雄
事務所/北条1511
会員数/12人
電話/23-8554
活動分野/保健・医療・福祉
設立/平成14年5月

健康耳より情報 8

皆さんの健康管理に活用ください
健康手帳の無償配布
市では40歳以上の人に、健康に関する医療や検査の記録を機能的にまとめることのできる、健康手帳を配布しています。

「健康手帳」は、各種検診、健康相談、保健サービス、病院などへ受診、薬、血圧・体重などの内容を記録できるもので、自分自身の健康履歴を知ることができます。また、健康に関する豆知識などが掲載されており、日々の健康管理に役立てていただけるものです。問合せ/健康管理課(☎23-3113)

▼どのように利用するの？
健康管理に、健康診査の記録や体の状態を記録し、医療を受けるときや健康相談・機能訓練のときに持参します。医師や保健師が、これまでの健康状態の経歴がわかり、医療や指導を受ける時の参考になります。

▼どこで配布しているの？
健康管理課(保健センター)の窓口で随時配布しています。各種検診、健康相談や健康教室などの会場でも希望する人に配布しています。また、市民課では老人保健法医療受給者の人に配布しています。



総合検診(問診)

BCGを生後3カ月から5カ月までに

ツベルクリン反応検査は廃止に

4月から、ツベルクリン反応検査が廃止になり、直接BCG接種になります。

法律の改正によるもので、対象年齢も生後3カ月から5カ月までと、これまでの生後4カ月から4歳未満までの期間から大幅に短くなります。

生後3カ月になると、三種混合(病院で個別接種)とポリオ(春と秋の集団接種)も通知が届きますが、BCGを先に受けて!



市では、4月以降も毎月1回集団でBCG接種を実施し、各月の実施日に3カ月を迎える子



どもを対象に通知します。接種期間が短いことから、市で行う集団接種を受ける機会が3回だけとなり、注意を呼びかけています。生後6カ月になると市での集団接種は受け

耐熱・異質ガラスは金属類に

市では、家庭から出されたガラス類のうち、ガラスびんは容器包装リサイクル法によるリサイクルを行っています。王冠、アルミキャップなどが混入しているとりサイクルできなくなるため、びんを出すときは、王冠やアルミキャップなどのふたをはずし、軽く水洗いしてから出すように呼びかけ



ガラスも王冠も混ざっている

耐熱ガラスは、異質ガラスで、再利用できません。

暖房設定控えめに省エネ月間

2月は「省エネルギー月間」です。便利でつい使ってしまう電気ですが、関東電気保安協会では省エネのポイントを示し、省エネを呼びかけています。

設定温度は控えめに、冬の室内の設定は20度を目安に、冷蔵庫の温度設定は弱めに、スイッチはOFF/見えないテレビや不要な照明はこまめに切って

たくさん電気を使う家電製品のトップ4は
①エアコン
②冷蔵庫
③照明器具
④テレビ



待機電力のカット/就寝や外出時は、常時通電が不要な電気製品は、プラグを抜いて。問合せ/関東電気保安協会(☎23-2881)

ています。

▼年度内の日程

ツベルクリン反応検査/2月16日(水)、3月16日(水) ツベルクリン判定・BCG予防接種/2月18日(金)、3月18日(金) 問合せ/健康管理課(☎23-3113)

募集

男女共同参画社会に向けてあなたの意見を

コーラル会議の委員を公募

コーラル会議は、市の男女共同参画社会の推進に関して、調査研究や意見交換を行ない、男女平等社会の実現意識づくりを考えています。

平成17年度に市長の諮問機関として設置され、「館山市男女共同参画推進プラン」・「総合計画」の策定に関わる意見、提言などを行ってききました。今回、委員の任期満了により、新たに4期委員を募集します。

委員は、関係団体などからの選出と一般公募者で構成されています。主な職務は、14年度に策定された「館山市男女共同参画推進プラン」を19年度に見直すため、基礎資料となる市民意識調査(18年度実施)に向けた会議を予定しています。ま

た、研修会や市主催の講演会への参加、地域への情報提供等を行います。

対象/市内在住、勤務の20歳以上の(性別は問いません) 募集人数/5人程度

任期/2年(平成17年4月1日~平成19年3月31日まで) 応募方法/「コーラル会議委員希望」とし、氏名、性別、年齢

市立博物館と菜の花ホールで

臨時職員の募集

市立博物館と菜の花ホールで臨時職員を募集します。ともに雇用予定期間は、平成17年4月1日から平成17年9月30日までで、期間更新の場合もあります。受付期間は2月15日から2月28日までで、3

月に口述試験(面接)を実施します。

市立博物館 職種/受付事務 勤務時間/本館と分館に隔月に勤務



生涯大学校南房学園で二次募集

千葉県生涯大学校では、平成17年4月入学生生の二次募集



場合は2月28日(月)必着。問合せ/市立博物館(☎23-5212)

菜の花ホール 職種/夜間管理人 勤務時間/午後5時10分から午後9時30分(勤務日数は月に15日程度) 賃金/月額5千135円

休館日/毎月第3日曜日、祝日、年末年始 申込方法/写真を貼付した履歴書を生涯学習課へ持参または郵送で提出。郵送の場合は2月28日(月)必着。問合せ/生涯学習課(☎22-3698)

千葉県生涯大学校は県内に5学園ありますが、館山市民は生涯大学校南房学園(南総文化ホール駐車場西側)に入学することができます。南房学園の二次募集についてお知らせします。入学資格/社会参加意欲のある県内在住の60歳以上(昭和20年4月1日以前に生まれた人)。募集学科/募集人員/福祉科63人、生活科22人、園芸科14人 授業料/一般課程年額1万8千円 入学案内配布場所/生涯大学校南房学園、市高齢者福祉課、南房総県民センター、安房健康福祉センター、県高齢者福祉課 受付期間/2月10日(木)から2月28日(月)まで 問合せ/願書の提出先/千葉県生涯大学校事務局(☎043-266-4705)